わが街 Watching

ＩＣＴ（情報通信技術）教育環境の整備に寄与

タブレット端末25台などを寄贈

２月29日、猪位金校区住民である佐々木一広さん、洋子さん夫妻が市役所を訪れ、田川市立猪位金小中一貫校のＩＣＴ（情報通信技術）教育環境の整備に活用してほしいと、タブレット端末25台と付属機器（キーボード・ワイヤレスマウス）などを寄贈しました。

この日贈られたタブレット端末は、キーボードを取り外すことができるため小さく持ち運びやすく、教室だけでなく校外学習など屋外での使用も可能。児童生徒の身近な自然や生活といった環境の情報収集にも活用できます。

佐々木さん夫妻は「子どもたちが楽しく勉強できるように、このタブレット端末を活用してほしい」と期待を寄せました。

▲二場公人市長にタブレット端末を寄贈する一広さん(右)と洋子さん(左)

日頃の学びの成果を披露

田川市隣保館合同文化祭

２月27・28日、田川青少年文化ホールで「田川市隣保館合同文化祭」が催され、上伊田・中央・弓削田の隣保館で文化・教養講座を受講している延べ約380人が日頃の学びの成果を発表しました。

展示会場には、生け花や書道、水墨画など379点の力作が並び、28日には、ミニ講演会の後、舞台発表が行われ、延べ156人が歌や踊りなどを披露し、会場からは大きな拍手が送られました。

展示された夫の作品を見に来たという岡島美恵子さん（鎮西団地）は「どの作品を見てもとても上手で驚きました。時間に余裕ができたらやってみたい」と話しました。

▲お揃いの衣装で力強い息の合った踊り「大雪山」

不定期連載企画

市民投稿コーナー たがわのわ 第1回

市民投稿コーナー「たがわのわ」に掲載する記事を募集しています。
投稿は本名、ペンネームどちらでも OK！地域の自慢や素敵な市内の風景などを200文字程度の原稿と写真（１枚）に、連絡先を添えて、郵便・Ｅメールで申し込みください。※掲載の有無については、総合政策課で判断し、掲載する場合のみ投稿者に連絡します。
◆申し込み・問い合わせ　総合政策課秘書広報係（☎44－2000 内線 404）

●投稿者　丸山老人クラブ葉桜会さん（丸山町）

３月６日、丸山公民館で「丸山老人クラブ葉桜会誕生会」が催され、１月～３月に誕生日を迎えた10人（2人欠席）を祝いました。

葉桜会には、現在60歳以上の32人が加入し、資源回収や清掃活動、食事会などさまざまな催しを実施して懇親を図っています。　誕生会は３か月ごとに年４回行われており、この日は参加した25人が、和気あいあいとした雰囲気の中、仕出しのお弁当のほか、公民館で有志が手づくりした豚汁やサラダなどの食事に舌鼓を打ちました。

▲「ドレミの歌」に合わせて一緒に踊る参加者

音って楽しい。それが音楽だよ！

きいてうたっておどっちゃおう♪音とあそぼ

３月６日、田川市民会館で、０歳期からの親子教室特別企画「きいてうたっておどっちゃおう♪音とあそぼ」が催され、子どもたちやその保護者など約200人が参加しました。

この日は、ヴァイオリン奏者の宮原絵理さんとピアノ奏者の馬渡英子さんが、クラシック曲や童謡などを披露すると、参加者は一緒に歌ったり踊ったりと音楽に触れあいました。また、宮原さんに教えてもらい、実際にヴァイオリンで音を出した子どもたちは、楽しそうに楽器を体験していました。

１歳５か月の美咲ちゃんと参加した藤崎香織さん(弓削田)は「ヴァイオリンの生演奏に感動しました。娘も音楽を聞いて楽しそうでした」と笑顔で話しました。

生きがいと　仲間をつくって　健康に

シルバー趣味の教室作品展・芸能大会

３月12・13日、田川青少年文化ホールで「シルバー趣味の教室作品展・芸能大会」が行われ、受講生約180人が学びの成果を発表しました。

シルバー趣味の教室では、市内の60歳以上の人を対象に、生きがいづくりや積極的な社会参加を推進するために、さまざまな学習活動を行っています。今回は両日ともに陶芸や人形など約350点が展示され、13日には民踊やレクリエーションダンス、英会話、詩吟、民謡の舞台発表が行われました。

受講生で最高齢という詩吟教室の中尾智子さん（91歳）は「みなさんきれいに声が出て普段の練習の成果が発揮できた。また来年の出場に向けて頑張ります」と話しました。

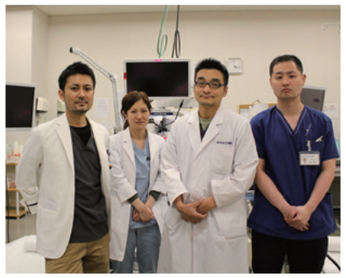
▲観客も参加して行われたレクリエーションダンスの発表

シリーズ

田川市立病院だより

●くわしい情報はHPで検索
田川市立病院　検索
クリック

「内視鏡検査の必要性～がんを早期発見するためには～」ー消化器内科



▲消化器内科医師が、誠心誠意診療します

我が国での死亡原因の第１位はがんです。その中でも大腸がん、胃がんが２位と３位を占めています。ここ最近、芸能人のがんによる死亡報道が多いためか、がんに対しての認識が高まっているように感じます。

胃がん、大腸がんを除去する基本的な治療法は外科的手術ですが、より早期に発見されると苦痛の少ない内視鏡治療でがんを完全に切除することが可能です。しかし、胃がん、大腸がんが進行し、全身に広がると切除は困難となり、薬物治療が主体となります。そのため、早期にがんを発見することが大事です。ただし、早期のがんには症状がないことが多いので、特に、胃がんの原因となるピロリ菌の感染率が高い40歳以上の中高年者は、積極的に検診を受けてください。

田川市立病院では、早期がんの発見率の精度が高い内視鏡検査を多数行い、早期発見に努めていますので、胃がん、大腸がんについて心配な人は、気軽に相談してください。

病院ボランティア募集！　●問い合わせ　田川市立病院（☎44－2100）